

【 目指す子どもの姿 】

日吉のもつ  
良さを  
生かして

日吉を知り、日吉から学び、日吉のことを考え、行動できる子を育てる  
低学年 → 中学年 → 高学年

◎地域を担う子を育てる

子どもたちは、日吉のことが好きで、その理由もそれぞれしっかりと捉えることができます。また、日吉の素晴らしさも実感しています。

【アンケート結果より】

これは、家庭、そして地域の方々がかこれまで子どもたちによさを伝えたり実感できるようなも施しを仕組んだりしてこられた積み重ねの賜物であると捉えることができます。

ただ、現在、コロナ禍が続き、これまでの『ふるさと学習』が十分にできていない、まだまだ日吉の良さについて知らないことが多いという状況にあります。

そこで、日吉のもつ良さを知ること、肌で感じること、学ぶこと、考えることを着実に積み上げていくことが、地域のことを想い、地域を担う子の具現に繋がると考えます。

【 基本的な構え 】

◎負担を感じるような組織、運営にしない。学校、家庭、地域のどこも過重負担とならないことを第一とする。そのために、一方通行の取組にすることなく、常に双方向になっていることを確認しながら進める。また、子どもに軸足を置き、よりよい成長に向けて、様々な立場からの見方・考え方を提案していく。

その際、まずは、新たな活動を生み出していくことより、今までの活動を見直し、工夫改善を加えていくことに重点を置く。

(価値ある活動が継続されている・・・日吉の良さを生かす。)

○運営協議会組織の一員として活動して良かった、有意義な活動を行うことができた、という思いがもてることを目指す。

◇新型コロナウイルス感染者の動向を注視し、無理なく行っていくことを前提とし、実施に当たっても、中止、延長、縮小等、柔軟に対応する。また実施する際には、感染対策を十分に講じる。